

令和8年度 部局経営方針

部局名	教育委員会	部局長名	若杉 健司	令和8年4月1日 現在
部局の経営資源	職員数 (人)	当初予算額 (千円)		令和8年度中に策定予定の計画 (根拠法令等)
	正職員	42 (ほか兼務6人)	一般会計 2,231,931	日向南部地区義務教育学校整備基本計画 日向市子ども読書活動推進計画(子どもの読書活動の推進に関する法律)
	再任用職員	9	特別会計	
	前年度繰越額(千円)			
	会計年度任用職員	145	一般会計 139,982	
	任期付職員	1(ほか兼務2)	特別会計	
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【基本姿勢】 教育委員会は、「第3次日向市総合計画・前期基本計画」(令和7年度～10年度)に掲げる将来像「人と自然が響き合い、にぎわいあふれる共創のまち日向」の実現に向け、「次代を担う心豊かな子どもを育む、安心して産み育てられるまち」を目指し、各施策に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 快適な環境の中で互いに学び合い、それぞれの個性を伸ばし、自分で考えて、学び、行動できる「生きる力」を身に付けた子どもの育成を目指します。 ● 地域社会が一体となって子どもを守り育むことで、郷土の文化や資源に誇りを持ち、ふるさとを愛する人材の育成を目指します。 ● 人権が尊重され、互いに認め合い、それぞれの個性を生かしながら幸せに暮らせる社会の実現を目指します。 <p>【総合計画・まちづくりで大切にしたい考え方】</p> <p>(1) 人権尊重 ○ 一人ひとりが尊重され、誰もが自分らしく能力を発揮し、平和を希求する心を育む教育を推進します。</p> <p>(2) 市民協働・共創 ○ 学校、家庭、地域が連携しながら、ふるさとに誇りを持ち、心豊かな人材の育成を目指します。</p> <p>(3) 地域力活用 ○ 学校、家庭、地域が連携しながら子どもを守り育むことで、社会に貢献する人材を育成します。</p>			

令和8年度 部局経営方針

部局名	教育委員会	部局長名	若杉 健司	令和8年4月1日 現在
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【総合計画・重点戦略に関連する項目のうち特に重点的に取り組む事業】</p> <p>1-2 未来に希望をつなげる人づくり</p> <p>1 確かな学力を育む教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 保育所・幼稚園・認定こども園など就学前教育と小学校教育において「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共通理解し、幼児教育の充実に連携して取り組みます。 ○ こどもの学ぶ意欲の向上に努め、確かな学力の定着に取り組みます。 <p>2 三位一体の教育(小中一貫教育・キャリア教育・コミュニティ・スクール)の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育が目指すグランドデザインの実現に向けて、系統的で一貫性のある教育を推進します。 ○ 社会的自立に必要な知識や技術、能力や態度を育成するキャリア教育の充実や地域の魅力に触れる「ふるさとの時間」を通じて郷土愛の醸成を図ります。 ○ コミュニティ・スクールで地域と連携した学校づくりや地域の特色を生かした教育活動に取り組み、子どもを守り育てる環境づくりを学校、家庭、地域が一体となって推進します。 <p>3 学校ICTの推進、教職員のICT活用指導力の向上(教育DXの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校のICT環境の充実を図り、児童生徒の資質・能力の向上をはじめ、情報リテラシーの育成を図ります。 ○ 学習支援ソフトや校務支援システムを活用し、学校業務の効率化を図り、授業づくりや子どもたちと向き合う時間の確保を図ります。 <p>4 市立小中学校適正規模・適正配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市立小中学校再編計画の策定に取り組むとともに、計画的な学校施設の整備(再編)に取り組みます。 ○ 学校再編においては、対象となる学校の保護者や地域住民等が一体となって特色ある学校づくりを進めていけるよう取り組みます。 <p>5 学校施設の改修・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 安全安心な教育環境の充実を図るため、学校施設の整備や環境に配慮した学校設備の改修及び適正な維持補修に取り組みます。 ○ 学校施設の防災力向上に取り組むとともに、災害時や不審者侵入に対応するため、避難訓練の実施や地域と連携した防犯対策を推進します。 ○ 学校給食センターの施設の長寿命化や施設管理費の平準化に努めます。 <p>6 学校給食費の無償化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食にかかる子育て世帯の経済的負担の軽減に取り組みます。 <p>7 いじめや不登校など誰一人取り残さない教育に向けた相談・支援体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ いじめや不登校に対する相談及び支援体制の充実を図るとともに、学校をはじめ、地域などと連携したこどもの居場所づくりに努めます。 ○ 帰国・外国人児童生徒等への教育機会の支援に取り組みます。 ○ 命の大切さを考える教育や豊かな心を育む教育を推進するため、道徳教育や体験活動の充実を図ります。 <p>8 新たな図書館複合施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の図書館が老朽化していることから、市民の知の拠点、交流の拠点として複合的な機能を備えた新たな図書館の整備に向けて取り組みます。 <p>9 図書館サービスの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 誰もが利用しやすい図書館とするために、読書バリアフリーや移動図書館車運行の充実に取り組みます。 ○ こどもの読書活動を支援するために、学校や地区公民館図書室と連携し、こどもに読書の楽しさを伝える環境づくりに取り組みます。 <p>10 市民が文化芸術に親しむ機会の創出や文化活動への参加に向けた環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民が文化芸術に親しむ機会を創出します。 ○ 市民が気軽に文化活動に参加・発表できるような環境づくりに努めます。 ○ 文化芸術団体の活動促進や団体相互間の交流促進に努めます。 ○ 文化施設を計画的に改修し、長寿命化を図ります。 <p>3-2 誇りと愛着を育み人が集まるまちづくり</p> <p>3 若山牧水をはじめとする先人の顕彰と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の先人に対して、幅広い年代に関心を持ってもらえる顕彰事業に取り組みます。 ○ 地域の先人を後世に伝え遺す貴重な資料の収集・保存・展示に努めます。 			

令和8年度 部局経営方針

部局名	教育委員会	部局長名	若杉 健司	令和8年4月1日 現在
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【総合計画・基本目標に関連する項目のうち特に重点的に取り組む事業】</p> <p>1-2 学校教育の推進</p> <p>② 教職員の育成と働き方改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小中学校9年間をつなげる学びを通して、児童生徒一人ひとりが問いを持って、仲間となって学び合いながら、力をつけられる授業づくりを推進します。 ○ 教職員が取り組むべき業務や部活動の地域連携など、負担軽減が可能な業務の改善に取り組み、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保します。 <p>③ 特別支援教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別な支援や配慮を要する児童生徒の相談支援体制の充実を図るとともに状況を丁寧に把握し、一人ひとりに合った指導や支援ができる環境づくり、教職員の専門性の向上に努めます。 <p>1-4 生涯学習・青少年健全育成の推進</p> <p>① 生涯学習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民のニーズを取り入れ、誰もが参加することができる生涯学習講座を企画し、運営に取り組みます。 ○ 自主サークルの周知を図り、学びたい人が学びたいことを学べる機会を提供します。 ○ 放送大学宮崎学習センターと連携し、市民の学びの場として周知・啓発を行います。 <p>② 社会教育団体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会教育団体がそれぞれの取組を活性化できるように、活動を支援します。 <p>④ 青少年の健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地域のこどもは地域で育てる」という意識が高められるように、こどもの学びや育ちを促す地域活動の取組を支援します。 ○ 郷土の偉人を学び、故郷を愛し、故郷に誇りを持つこどもを育てます。 ○ 放課後にこどもが地域の大人と交流しながら、安全で安心して過ごせる居場所づくりを行います。 ○ 青少年が相談しやすい環境をつくるとともに、関係機関と連携しながら、青少年の健全な育成や非行の防止に取り組みます。 <p>1-5 文化芸術の振興</p> <p>② 文化財等の保存・継承・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 埋蔵文化財は遺跡等の状況把握に努め、記録・保存に取り組みます。 <p>6-1 人権・平和の尊重</p> <p>① 人権・同和教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日向市学校人権・同和教育推進協議会において、人権・同和教育問題に対する教職員の理解を深めます。 ○ 日向市人権・同和教育研究大会の充実を図り、市民の人権意識の醸成を図ります。 ○ 教育集会所の活動を支援し、差別に負けない心を育成します。 <p>③ 平和を尊ぶ意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戦時中に学童疎開を受け入れた縁のある沖縄県へ中学生を派遣し、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、それらを共有することで、平和学習の充実を図ります。 <p>【総合計画・上記以外で特に重点的に取り組む事業】</p> <p>1-2 学校教育の推進</p> <p>① 小学校・中学校教育等の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グローバルな人材育成に向けた実践的な英語指導の充実を図るため、国際的な教育交流体制の構築に取り組みます。 ○ クラウド型次世代校務支援システム運用を見据えて、小中学校のネットワーク環境や機器の状況調査を行うなど「ゼロトラスト環境構築」に向けて取り組みます。 <p>1-3 教育環境の充実</p> <p>③ 児童生徒を大切にす教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科保健対策として、フッ化物洗口(小学校低学年対象)などむし歯予防に取り組みます。 			

令和8年度 部局経営方針

部局名	教育委員会	部局長名	若杉 健司	令和8年4月1日 現在
総合計画に基づく部局の経営戦略	<p>【行財政改革大綱に基づく行動計画】</p> <p>基本方針1 満足度の高い行政サービスの実現 重点取組項目2 デジタル技術活用の推進</p> <p>1 ペーパーレスの推進 課内会議におけるペーパーレス会議を推進し、コストの削減に努めます。</p> <p>2 ICT活用による業務効率化 生成AIを活用した資料作成、文書添削、業務遂行における法的チェック等に取り組み、業務の効率化に努めます。</p> <p>基本方針2 健全な財政基盤の維持 重点取組項目2 公共施設マネジメントの推進</p> <p>1 公共施設の適正管理 閉校・休校となっている学校施設や教職員住宅について、普通財産への移行に取り組みます。</p> <p>基本方針3 質の高い人材基盤の構築 重点取組項目2 働き方改革の推進</p> <p>1 ワーク・ライフ・バランスの実現 年次有給休暇の計画的な取得を促進します。</p>			

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

基本戦略	1 安心して子どもを産み育てられるまちをつくる
主要施策	1-2 未来に希望をつなげる人づくり
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 子どもが安心して学べる教育環境をつくり、それぞれの個性を大切にした指導及び支援で学力の向上に取り組みます。 ▶ 心豊かでたくましく生きていける心身ともに健やかな子どもたちの教育ができる教育環境の充実を図ります。 ▶ 少子化を踏まえ、小中学校の規模や配置を適正にするための方針及び計画を策定し、学校施設の計画的な整備に取り組みます。 ▶ 地域に根ざした教育活動を進め、学校、家庭、地域が協力して子どもを守り育てる環境をつくります。 ▶ 子育て世帯の負担を軽減するために経済的な支援に努めます。 ▶ 学校だけでは解決できない問題に対応するため、相談・支援体制の充実を図るとともに、地域や関係機関と連携・協力して取り組みます。 ▶ 誰もが読書を楽しむことができる環境づくりに向けて、図書館サービスの充実に努めます。 ▶ 年齢や障がいの有無等に関わらず、市民が気軽に文化芸術に親しめる機会の充実に努めます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	
	令和5（2023）年度	目標値 令和10（2028）年度
全国学力・学習状況調査で「将来の夢や目標を持っている」と答えた中学3年生の割合	68.3%	72.0%
全国学力・学習状況調査で「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と答えた中学3年生の割合	74.4%	80.3%
小中学校のトイレの洋式化率	60.4%	70.0%
不登校児童生徒のうち、学校内外の機関等で相談・指導等を受けている児童生徒の割合	50.4%	65.0%

具体的な施策	1-2-1 確かな学力を育む教育の推進							
	番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期
	1	○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼保小で共有するとともに、幼児期の学びを小学校の学習につなげるため、交流・研修に取り組みます。	学校教育課	-	幼稚園、保育所、認定こども園、小学校の職員が、研修会等を通して、接続の重要性を共通理解しています。しかし、学区区での取り組みの差が見られます。	幼保小連絡協議会に積極的に参加し、架け橋期における幼保と小学校の接続をスムーズに行えるよう交流や助言などの支援に取り組みます。	幼保小連絡協議会への参加や小学校・幼稚園等の授業の参観交流などの取り組みを支援します。	幼保小連絡協議会を中心に、架け橋期におけるカリキュラム検討を行い、幼保小のよりスムーズな接続につながるよう、共通理解を図りながら取り組みます。
	2	○主体的・対話的で深い学びの実現を図るため、小中9年間を見据えた授業改善に取り組みます。	学校教育課	ひゅうがの学びサポート事業	小中9年間を見通した「日向学びの学校」の取組が浸透しつつあります。指導経験が浅い職員が増えてきたことで、指導力に差がないよう取り組む必要があります。	「自立的な学びの推進」を重点推進事項として捉え、市内小中学校に周知徹底を図り、小中一貫教育での取り組みを推進します。	授業力向上プロジェクト推進校における授業改善の推進及び授業力アップ研修会における教職員の専門性向上を図ります。	授業公開及び研究会を開催し、市内各小中学校へ授業改善内容等を共有するとともに実践に取り組みます。
	3	○児童生徒の学力の実態把握と分析を行い、適切な指導につなげるにより資質・能力の育成を図ります。	学校教育課	ひゅうがの学びサポート事業	各学校、諸学力調査等の分析を行っていますが、分析した結果を取り入れた授業改善にはさらに工夫が必要となっています。	学力向上担当専任指導主事を配置し、分析結果を生かした具体的な授業改善に資する研修を行い、各学校の課題を明確にし、指導の工夫改善を図ります。	各学校における諸学力調査の分析・研修及び授業力向上ミーティングにおける授業改善案を検討します。	各学校における次年度の取り組みと改善策を明確にし、共通理解と浸透を図ります。

具体的な施策	1-2-2 三位一体の教育（小中一貫教育・キャリア教育・コミュニティ・スクール）の推進							
	番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期
	1	○小中一貫教育が目指すグランドデザインの実現に向けた取組を支援します。	学校教育課	小中連携・一貫推進事業	各中学校区でグランドデザインを作成し、内容を共有しながら教育活動を行っていますが、実態に応じた改善に至っていない学校があるため、内容の見直しなどに取り組んでいく必要があります。	各中学校区で作成したグランドデザインの活用を図りながら、内容の見直しと改善を図り、地域の実態に応じた取り組みの充実を図ります。	各中学校区における小中合同研修会を実施し、グランドデザインの共通理解を図り、共通実践につなげます。	各中学校区において実践した取組の検証を行うとともに、必要に応じて小中合同研修会を実施し、さらなる取り組みの充実を図ります。
	2	○家庭や地域と連携・協働し、児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育を推進します。	学校教育課	キャリア教育推進事業	キャリア教育支援センターの各学校へのサポートの在り方の向上と、地域や保護者に向けた情報発信の在り方を検証していく必要があります。	キャリア教育支援センターと連携を図り、14歳のよのなか挑戦の全市展開とよのなか先生の活用を推進し、SNS及びホームページ等を活用した広報の拡充を図ります。	日向学びの学校研修会（キャリア教育）を実施し、キャリア教育に携わるにあたっての教師の専門性の向上を図ります。	各学校でのキャリア教育に対する1年間の振り返りと次年度の取り組みについて検討を促すとともに、必要に応じて指導助言を行います。

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

3	<p>○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的取組を推進し、地域とともに魅力ある学校づくりに取り組みます。</p>	学校教育課	地域学校共同活動推進事業	<p>学校運営協議会において、少しずつ協議の回数も増え、地域と一体となった取組が見られます。しかし、地域によって取組に差が見られるため、改善の必要があります。</p>	<p>コミュニティ・スクールに関する研修を行い、地域と一体となった取組の必要性について伝えるとともに、先進的な取組を紹介しながら、魅力ある学校づくりに向け、意識の高揚を図ります。</p>	<p>日向学びの学校研修会（コミュニティ・スクール）を実施し、学校と地域が一体となった取組の推進が図られるよう支援します。</p>	<p>地域コーディネーター連絡協議会を定期的で開催し、活動の振り返りや具体的な推進方法を適宜検討し、魅力ある学校づくりに取り組みます。</p>
---	--	-------	--------------	---	---	---	---

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

具体的な施策 1-2-3 学校ICTの推進、教職員のICT活用指導力の向上								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○ICTを効果的に活用して児童生徒の情報活用能力の育成と学習状況に応じた個別最適な学びに取り組みます。	学校教育課	学校ICT環境整備事業	ICTを活用した授業は実施しているものの、活用することが目的とならないよう、児童生徒の情報活用能力を高め、個別最適な学びの充実を図るための授業改善を行う必要があります。	授業力向上プロジェクト推進校を中心に、ICTを活用した授業研究を行い、授業公開や協議を通して、市内小中学校への展開を図り、各学校での取組につなげます。	授業力向上プロジェクト推進校におけるICT研修と授業研究の実施を行います。	授業公開及び研究会を開催し、市内各小中学校への取組の拡大を図ります。	
2	○学校ICTの環境整備や教職員のICT活用指導力向上に取り組みます。	学校教育課	学校ICT環境整備事業	ICT教育を推進するため、タブレット端末の整備を行うとともに、活用に向けた研修を実施しています。ICTの活用やICT支援員の授業における活用などには学校差が生じることはないよう、改善をしていく必要があります。	タブレット端末の更新に伴い、ICT活用のための研修会を充実させ、授業や研修会での活用について学校へ周知し、活用の改善を図ります。	ICT研修会を定期的に実施し、教職員のICT活用スキルを高めると共に、授業での活用について充実を図ります。	教職員及び管理職を対象としたICT研修会を実施し、各学校での効果的なICT活用が組織的に図られるよう取り組みます。	
具体的な施策 1-2-4 市立小中学校適正規模・適正配置								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○望ましい教育環境を将来にわたり維持するため、地域とのつながりやコミュニティの維持に配慮しつつ、適正な学校規模や配置についての計画の策定を行い、整備に取り組みます。	学校教育課	学校再編事業	児童生徒数が減少する中、社会性の育成や効果的な学校運営を行うため、学校の適正規模・適正配置に取り組む必要があります。	市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に基づき再編計画の策定に取り組むとともに、計画的な学校施設の整備（再編）に取り組みます。	計画策定支援業務の委託や庁内での協議など、再編計画の策定に着手します。	外部の委員で構成する通学区域審議会を開催し、再編計画等に対する意見を聴取します。	
具体的な施策 1-2-5 学校施設の改修・整備								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○児童生徒が安全で安心して学習できるよう、学校施設の改修・整備に努めます。	教育総務課	小中学校各校整備事業	小中学校は経年の劣化に伴い、施設の改修を行う必要があります。	小中学校の管理諸室・教室の照明LED化及び体育館床改修工事を行います。	夏季休業等を利用して、授業に影響が出ないように改修工事を実施します。	高小中学校プール改修工事を実施します。	
2	○空調設備の整備やトイレの洋式化・バリアフリー化を更に進めます。	教育総務課	[R07国補正]小中学校空調設備整備事業	普通教室は空調が全室に設置されていますが、特別教室の設置率は低いままです。そのため、特別教室を使う児童生徒は熱中症のリスクが高く、早急な対策を行う必要があります。	小学校7校、中学校3校の特別教室27室(2,302㎡)に空調を新設します。	夏季休業等を利用して、授業に影響がでないように新設工事を実施します。	-	
具体的な施策 1-2-6 学校給食費の無償化								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○段階的に学校給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ります。	学校給食センター	学校給食運営事業	子育て世帯の経済的負担が大きいため、無償化を実施し、軽減に努める必要があります。	中学3年生の給食費無償化を実施します。その他の学年は国の交付金や市独自財政支援により保護者の負担軽減を行いながら、無償化拡充について研究します。	中学3年生の無償化を実施し、その他の学年の無償化拡充について研究を行います。	中学3年生の無償化を実施し、その他の学年の無償化拡充について研究を行います。	
2	○学校給食費の無償化に伴い、長期欠食者や食物アレルギー対象者など、学校給食の提供を受けられない児童生徒や市外の学校に通学する児童生徒に対して給付金を支給します。	学校給食センター	学校給食運営事業	子育て世帯の経済的支援のため中学3年生の無償化の実施に伴い、長期欠食者や食物アレルギー対象者など、学校給食の提供を受けられない児童生徒や市外の学校に通学する児童生徒に対して給付金を支給する必要があります。	中学3年生の長期欠食者や食物アレルギー対象者など、学校給食の提供を受けられない児童生徒や市外の学校に通学する児童生徒に対して給付金を支給します。	日向市学校給食費給付金を支給します。	日向市学校給食費給付金を支給します。	

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

具体的な施策								
1-2-7 いじめや不登校など誰一人取り残さない教育に向けた相談・支援体制の充実								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○いじめや不登校に関する相談・支援をはじめ、多様化するニーズに対応していく支援体制の充実に取り組みます。	学校教育課	スクールサポート事業	児童生徒が抱える悩みや問題が複雑化していく中で、様々な要因から不登校となる児童生徒が増加傾向にあることから、学校だけではなく、専門性のある支援を行う必要があります。	市独自のスクールソーシャルワーカーを配置し、家庭を含めた児童生徒の支援及び専門機関への繋ぎを実施すると共に、生徒指導担当専任指導主事による支援の拡充を図ります。	スクールソーシャルワーカーによる学校訪問及び家庭訪問による相談・支援を継続的に実施するとともに、生徒指導担当専任指導主事による学校への指導・助言、相談対応など支援を行います。	各学校の不登校に対する生徒指導体制について、生徒指導主事研修会等で振り返りを行うとともに、生徒指導担当専任指導主事と学校で連携し、必要に応じて体制見直しを行います。	
2	○不登校の児童生徒に多様な学びの場を提供するため、学校をはじめ、地域などと連携してこどもの居場所づくりに取り組みます。	学校教育課	スクールサポート事業	児童生徒が抱える悩みや問題が複雑化していく中で、不登校となり、学習の保障や社会性を学ぶ機会が減少する児童生徒が増加傾向にあることから、家族以外の人と関わる機会を設定し、社会的自立を支援する必要があります。	教育支援センター「ひまわりラウンジ」の機能を拡充し、通級できない児童生徒に対して、オンラインを活用した支援の充実を図ります。また、財光寺中学校の校内教育支援センターと連携を図りながら、よりよい支援のあり方について検討し、支援の充実を図ります。	各学校や保護者に教育支援センター活用の周知啓発を行うとともに、教育支援センターや民間施設を訪問し、情報共有を図りながら、各施設の強みを生かした不登校児童生徒への支援を行います。	各児童生徒の居場所と学校との連携の在り方について検証を行い、児童生徒に必要な支援を行うとともに、学校における居場所の確保に取り組みます。	
3	○特別支援教育に関する専門性の向上を図るとともに、相談支援体制の充実に取り組みます。	学校教育課	障害のある児童生徒の教育の充実に関する経費	児童生徒の特性等に応じた教育支援へのニーズは増加傾向にあり、特別支援教育の充実を図るためには、特別支援教育支援員の適切な配置や通級指導教室の効果的な運用および教職員の専門性や指導力の向上が必要です。	特別支援教育担当をはじめとした教職員や支援員に対して研修を行い、特別支援教育の理解の浸透を図ります。さらに、特別支援教育担当専任指導主事により、適切な支援に対する指導・助言を行うなど学校の支援体制の強化を図ります。	特別支援教育支援員や担当教職員の研修会を実施します。また、就学前相談・教育支援委員会を開催し、適切な就学支援につなげます。	就学や在籍変更に関する支援及び特別支援教育支援員の適切な配置を行うため、特別支援教育担当専任指導主事や学校訪問を行い、支援体制の構築と適切な支援につなげます。	
具体的な施策								
1-2-9 図書館サービスの充実								
番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期	
1	○読書バリアフリーを実現するために、移動図書館車のきめ細かな運行や電子書籍の導入などサービスの充実に取り組みます。	図書館	電子図書館運営事業	令和7年9月2日に開始した「ひゅうがデジタル図書館」の利用者をさらに増やしていくため、来館できない人への周知や体験会を通じて利用促進を図る必要があります。小・中学校での利用を促進するため、学校図書担当教諭や同図書館司書と協力しながら取り組んでいく必要があります。	小・中学校での「ひゅうがデジタル図書館」の利用促進を図るとともに、来館しなくても読書が楽しめる電子図書館の魅力を発信し、利用者増につなげます。	電子図書館利用に関するアンケート調査を行い、ニーズ等を把握し、必要に応じて改善を図るとともに、定期的に電子図書館の電子書籍の閲覧件数及びホームページへのアクセス件数を集計し、現状把握を行うとともに、伸び率の推移の要因を分析し、周知方法の改善に努めます。	「ひゅうがデジタル図書館」の利用促進に向け、様々な機会を通じて周知を図り、利用者増につなげます。また、日向市図書館協議会において、電子図書館に対する評価・改善案について検討を行います。	
2	○読書に困難がある人が、自分に合った方法で読書ができる環境構築に取り組みます。	図書館	図書館機能の充実・読書活動推進事業	新たな図書館複合施設整備を見据え、現図書館においても居心地の良い図書館づくりを目指し、来館者増につなげていくことが課題です。また、令和7年10月に開始した読書支援サービスについては、制度の周知を図り利用登録者を増やしていく必要があります。	市民アンケートや日向ラボラボ（新しい図書館複合施設整備に向けた市民参加型の共創プロジェクト）での意見を踏まえ、居心地の良い空間づくりや誰もが読書を楽しめる環境構築を進め、図書館サービスの利用者の拡大に努めます。	「静かすぎない図書館」「飲食OKの図書館」についての検証を行いながら状況に応じて改善を進め、来館者増につなげていきます。また、令和7年10月に開始した読書支援サービスについて対象を絞った周知を行い、利用登録者増につなげていきます。	様々な目的の来館者に図書館の本を手にとってもらえるような企画展示や呼びかけを行い、読書推進を図ります。読書支援サービスの利用者を増やすとともに、意見聴取もを行い、サービス改善に取り組みます。	

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

具体的な施策	1-2-10 市民が文化芸術に親しむ機会の創出や文化活動への参加に向けた環境づくり							
	番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期
	1	○市民の文化芸術活動の発表・鑑賞の機会として、日向市美術展覧会や総合文化祭を開催します。	文化・生涯学習課	芸術文化事業	出品者、出演者、来場者が伸び悩んでおり、市民が文化芸術の発表や鑑賞する機会の提供をさらに充実していく必要があります。	日向市美術展覧会、日向市総合文化祭を開催します。	5月に日向市美術展覧会を前日から開催期間を拡大して行います。	日向市総合文化祭の開催期間を7月～1月にかけて設定し、市民が文化芸術に触れる機会が広がるよう取り組みます。
	2	○市民が文化芸術に気軽に親しみ体験できるよう、ワークショップを開催するとともにアウトリーチ活動（芸術普及活動）に取り組みます。	文化・生涯学習課	芸術文化事業	様々な世代の方に対し、文化芸術に親しむ機会の創出に努めていく必要があります。	小中学校のうち小規模校での鑑賞教室の開催を支援します。	鑑賞教室の開催を支援します。	鑑賞教室の開催を支援します。
	3	○老朽化が進行している日向市文化交流センターの改修を進めます。	文化・生涯学習課	日向市文化交流センター施設管理運営費	平成2年に開館しており、利用に影響が出るような故障が発生するなど、施設設備の老朽化が進行しています。	適切な施設の維持管理、長寿命化のため大規模改修に向けた設計業務を委託するほか、優先順位の高い箇所から改修工事を行います。	大規模改修に伴う基本設計・実施設計の業務委託を行うとともに、変圧器更新工事を行います。	年度内に基本設計を完了します。

基本戦略	3 地域資源を生かして新しい人の流れをつくる
主要施策	3-2 誇りと愛着を育み人が集まるまちづくり
基本方針	▶ 地域の歴史や文化を誇りに思えるよう、若山牧水などの先人の遺業をたたえ、後生に伝える事業に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値		目標値
	令和5（2023）年度	年度	令和10（2028）年度
若山牧水関連事業の参加者数（年間）	4,552人		5,000人
ふるさと応援寄附金の寄附件数（累計）	32,671件		192,000件
新たな移住者（UIターン）数（累計）	-		600人

具体的な施策	3-2-3 若山牧水をはじめとする先人の顕彰と活用							
	番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期
	1	○幅広い年代に関心を持ってもらえるよう牧水・短歌甲子園等の顕彰事業の充実を図ります。	文化・生涯学習課	牧水顕彰事業	顕彰事業への参加者が固定化、高齢化しており、参加者数も減少しているため、市内外への周知方法、若山牧水や短歌に興味を持っていない方にどうアプローチしていくかが課題です。特に、若い世代へのPR、参加したいと思える内容について工夫を図る必要があります。	若山牧水記念文学館企画展、牧水・短歌甲子園、牧水祭、青の國若山牧水短歌大会などを開催します。	8月に、牧水・短歌甲子園を開催し、個人戦でのネット投票を実施するとともに、牧水・短歌甲子園OBOG会みなど等の協力を得ながらSNS等を通じて周知を図ります。9月に牧水祭を開催します。	12月に、青の國若山牧水短歌大会表彰式を開催します。
	5	○若山牧水記念文学館を拠点に、牧水をはじめとする先人の貴重な資料の収集・保存・展示に努めます。	文化・生涯学習課	若山牧水記念文学館管理運営費	魅力ある各種企画展の開催や広報活動の強化のほか、隣接する牧水公園交流施設の指定管理者等とも連携を図り、来館者を増やす取組が必要です。	若山牧水記念文学館企画展を開催します。SNSでの情報発信を行います。	若山牧水記念文学館において3つの企画展を開催します。新たなSNS等の手法を用いた情報発信を開始します。	若山牧水記念文学館において2つの企画展を開催します。

【教育委員会】

様式2 総合戦略に基づく基本戦略と主要施策

横断的な目標	
主要施策	1 デジタル技術の活用による地域課題の解決（自治体DXの推進）
基本方針	▶ 小中学校のICT環境の充実を図り、校務のデジタル化による業務効率化の向上に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	
	令和5（2023）年度	令和10（2028）年度
市民バスの利用者数	64,562人	70,000人

具体的な施策 横断1-1 小・中学校のICT化による教育DXの推進

番号	施策の内容	所管課	予算事業名	現状と課題	取組内容	上半期	下半期
1	○学習支援ソフトや校務支援システムにより、各種学校業務の作業の効率化に取り組むことで、授業づくりや子どもたちと向き合う時間の確保を図ります。	学校教育課	学校ICT環境整備事業（小学校）（中学校）	学習支援ソフトや県で統一された校務支援システムの活用により授業支援や校務の効率化が図られていますが、継続的な運用や年次的な更新が必要です。	校務支援システムの活用充実を図りながら、教育DXを推進します。	小学校のタブレット端末を更新し、ICT支援員等による授業支援やICT操作研修を実施します。	ICT研修会の充実、AIの活用による校務DXの推進に努めます。